

ばれいしょ に使用可能な農薬一覧表

銚田市農業振興センター

【令和7年5月1日現在】

<殺菌剤>

薬剤名	対象病虫害									希釈倍数 使用量 (使用液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法等	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード			
	黒 あざ 病	そう か病	紛 状 そう か病	疫 病	夏 疫 病	軟 腐 病	黒 あ し 病	青 枯 病	その他 病 害 虫										
リゾレックス水和剤	●									50～100倍	貯蔵前又は植付け前	1回	種いも浸漬(10分以内)	トルクロホスメチル	1回	14			
アタッキン水和剤	●					●				40倍	植付前	1回	5～10秒間種いも浸漬	ストレプトマイシン硫酸塩	5回以内(但し、種いもへの処理は1回以内)	25			
	●	●								40倍 (2.5～3L/種いも100kg)	植付前	1回	種いも散布				チオファネートメチル	5回以内(但し、種いもへの処理は1回以内)	1
		●								40～60倍	植付前	1回	5～10秒間種いも浸漬						
フロンサイド粉剤		●	●							30～40kg/10a	植付前	1回	全面土壌混和	フルアジナム	6回以内(但し、種いも浸漬は1回以内、植付前の土壌混和及び植付時の植溝散布は合計1回以内、植付後の散布は4回以内)	29			
ネビジン粉剤		●								30kg/10a	植付時	1回	作条土壌混和	フルスルファミド	2回以内(但し、種いも浸漬は1回以内、土壌混和は1回以内)	36			
		●	●							60kg/10a	植付時	1回	全面土壌混和						
ホライズンドライフロアブル					●					1500倍 (100～300L/10a)	収穫14日前まで	4回 以内	散布	シモキサニル	4回以内	27			
				●						1000～2500倍 (100～300L/10a)	収穫14日前まで	4回 以内	散布						
				●						400倍 (25L/10a)	収穫14日前まで	4回 以内	散布【フームスプレー】	ファモキサドン	4回以内	11			
				●						20倍 (1.6～4L/10a)	収穫14日前まで	4回 以内	無人航空機による散布						
				●						40倍 (3.2～8L/10a)	収穫14日前まで	4回 以内	無人航空機による散布						

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

<殺菌剤> ばれいしょ

【令和7年5月1日現在】

薬剤名	対象病害虫								希釈倍数 使用量 (使用液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法等	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	黒あざ病	そうか病	紛状そうか病	疫病	夏疫病	軟腐病	黒あし病	青枯病							
ブリザード水和剤				●					800～1500倍 (100～300L/10a)	収穫7日前まで	4回 以内	散布	シモキサニル	4回以内	27
				●					250倍 (25L/10a)	収穫7日前まで	4回 以内	散布【フームスプレー】			
					●				800～1000倍 (100～300L/10a)	収穫7日前まで	4回 以内	散布	TPN	5回以内	
								灰色かび病	1000倍 (100～300L/10a)	収穫7日前まで	4回 以内	散布			
プロポーズ顆粒水和剤				●	●				750～1000倍 (100～300L/10a)	収穫7日前まで	5回 以内	散布	ベンチアバリカル ブイソプロピル	5回以内	40
				●	●				250倍 (25L/10a)	収穫7日前まで	5回 以内	散布【フームスプレー】			
									32倍 (3.2L/10a)	収穫7日前まで	5回 以内	無人航空機による散布	TPN	5回以内	
									16倍 (1.6L/10a)	収穫7日前まで	5回 以内	無人航空機による散布			
ペンコゼブ水和剤				●	●				400～600倍 (100～300L/10a)	収穫7日前まで	10回 以内	散布	マンゼブ	10回以内(但し、無人航空機散布は3回以内) (殺虫殺菌剤)	F:M03 I:UN
				●					100倍 (25L/10a)	収穫7日前まで	10回 以内	散布【フームスプレー】			
ジマンダイセン水和剤				●	●				400～600倍 (100～300L/10a)	収穫7日前まで	10回 以内	散布	マンゼブ	10回以内(但し、無人航空機散布は3回以内) (殺虫殺菌剤)	F:M03 I:UN
				●					100倍 (25L/10a)	収穫7日前まで	10回 以内	散布【フームスプレー】			
				●					8倍 (3.2L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	無人航空機による散布			

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散（ドリフト）しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

<殺菌剤> ばれいしょ

【令和7年5月1日現在】

薬剤名	対象病害虫									希釈倍数 使用量 (使用液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法等	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	黒あざ病	そうか病	紛状そうか病	疫病	夏疫病	軟腐病	黒あし病	青枯病	その他 病害虫							
レーバフロアブル				●						12倍 (1.6L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	無人航空機による散布	マンジプロパミド	2回以内	40
				●						24倍 (3.2L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	無人航空機による散布			
				●						375～500倍 (25L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布【フォームスプレー】			
				●						1500～2000倍 (60～300L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布			
ランマンフロアブル				●						1000～2000倍 (100～300L/10a)	収穫7日前まで	4回 以内	散布	シアゾファミド	4回以内	21
				●						375倍 (25L/10a)	収穫7日前まで	4回 以内	散布【フォームスプレー】			
				●						600倍 (40L/10a)	収穫7日前まで	4回 以内	散布【フォームスプレー】			
				●						32倍 (3.2L/10a)	収穫7日前まで	4回 以内	無人航空機による散布			
				●						16倍 (1.6L/10a)	収穫7日前まで	4回 以内	無人航空機による散布			
バリダシン液剤5	●									200倍 (-)	貯蔵前又は植付前	1回	瞬時～10分間種いも浸漬	バリダマイシン	7回以内(但し、種いもへの処理は1回以内、 植付後は6回以内)	U18
	●								200倍 (2.5～3L/種いも100kg)	貯蔵前又は植付前	1回	種いも散布				
	●								10倍 (200～300ml/種いも100kg)	植付前	1回	種いも散布				
						●		●	500倍 (100～300L/10a)	収穫3日前まで	6回 以内	散布				
アグリマイシンー100				●						1000倍 (100～300L/10a)	収穫3日前まで	5回 以内	散布	オキシテトラサイ クリン	5回以内(但し、種いもへの処理は1回以内)	41
				●					1000～1600倍 (100～300L/10a)	収穫3日前まで	5回 以内	散布				
		●							●	40～100倍 (-)	植付前	1回	5～10秒間種いも浸漬	ストレプトマイシ ン硫酸塩	5回以内(但し、種いもへの処理は1回以内)	25
		●							●	40～100倍 (2.5～3L/種いも100kg)	植付前	1回	種いも散布			

※参考資料の作成に当たっては、農業使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農業を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農業の誤った使用を行わないようにしてください。

※農業散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農業が飛散（ドリフト）しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

<殺菌剤> ばれいしょ

【令和7年5月1日現在】

薬剤名	対象病害虫								希釈倍数 使用量 (使用液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法等	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	黒あざ病	そうか病	紛状そうか病	疫病	夏疫病	軟腐病	黒あし病	青枯病							
アグレプト液剤						●			1000~2000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	5回 以内	散布	ストレプトマイシン 硫酸塩	5回以内(但し、種いもへの処理は1回以内)	25
		●							10倍 (200~300ml/種いも100kg)	植付前	1回	種いも散布			
		●							60~100倍 (-)	植付前	1回	5~10秒間種いも浸漬			
		●							60~100倍 (2.5~3L/種いも100kg)	植付前	1回	種いも散布			
							●		10倍 (300ml/種いも100kg)	植付前	1回	種いも散布			
							●		60~100倍 (-)	植付前	1回	5~10秒間種いも浸漬			
							●		60~100倍 (3L/種いも100kg)	植付前	1回	種いも散布			
カッパーシン水和剤						●			500~800倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	カスガマイシン	4回以内(但し、種いも浸漬は1回以内、植付後は3回以内)	24
				●					800倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	塩基性塩化銅	-	M01
カセット水和剤						●			1000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	オキシソリニック酸	5回以内(但し、種いも浸漬は1回以内)	31
		●							30倍 (-)	植付前	1回	種いも瞬間浸漬	カスガマイシン	4回以内(但し、種いも浸漬は1回以内、植付後は3回以内)	24
スターナ水和剤						●			1000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	5回 以内	散布	オキシソリニック酸	5回以内(但し、種いも浸漬は1回以内)	31
コサイドボルドー		●							50~100倍	植付前	-	20分間種いも浸漬	水酸化第二銅	-	M01
				●					500~1000倍	-	-	散布			
						●			1000倍	-	-	散布			
Zボルドー				●					400倍 (100~300L/10a)	-	-	散布	塩基性硫酸銅	-	M01
						●			16倍 (1.6~3.2L/10a)	-	-	無人航空機による散布			

※参考資料の作成に当たっては、農業使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農業を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農業の誤った使用を行わないようにしてください。

※農業散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農業が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

<殺菌剤> ばれいしょ

【令和7年5月1日現在】

薬剤名	対象病害虫									希釈倍数 使用量 (使用液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法等	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	黒あざ病	そうか病	紛状 そうか病	疫病	夏 疫病	軟 腐病	黒 あし病	青 枯病	その他 病害虫							
バリダシン粉剤DL	●									種いも重量の0.3%	植付前	1回	種いも粉衣	バリダマイシン	7回以内(但し、種いもへの処理は1回以内、 植付後は6回以内)	U18
モンセレン粉剤DL	●									種いも重量の0.5%量	植付前	1回	種いも粉衣	ペンシクロン	1回	20
ゾーベック エンカンティア SE				●	●					2000倍 (100~300L/10a)	収穫14日前まで	3回 以内	散布	オキサチアピプロ リン	3回以内	49
									500倍 (25L/10a)	収穫14日前まで	3回 以内	散布【フームスプレー】				
				●					64倍 (3.2L/10a)	収穫14日前まで	3回 以内	無人航空機による散布	ファモキサドン	4回以内	11	
									32倍 (1.6L/10a)	収穫14日前まで	3回 以内	無人航空機による散布				
ザンプロDMフロアブル				●						1000~1500倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布	アメトクトラジン	3回以内	45
									250倍 (25L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布【フームスプレー】				
				●					8倍 (0.8L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	無人航空機による散布	ジメトモルフ	3回以内	40	
									16倍 (1.6L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	無人航空機による散布				
									32倍 (3.2L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	無人航空機による散布				
コサイド3000				●		●				1000倍 (100~300L/10a)	-	-	散布	水酸化第二銅	-	M01
		●							100倍 (-)	植付前	-	-	種いも瞬間浸漬			
ナレート水和剤										600~1000倍 (100~300L/10a)	収穫14日前まで	5回 以内	散布	オキサリニック酸	5回以内(但し、種いも浸漬は1回以内)	31
														有機銅	5回以内	M01
マテリーナ水和剤										1000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	オキサリニック酸	5回以内(但し、種いも浸漬は1回以内)	31
														ストレプトマイシン 硫酸銅	5回以内(但し、種いもへの処理は1回以内)	25

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意を払っていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

ばれいしょ 使用可能な農薬一覧表

銚田市農業振興センター

【令和7年5月1日現在】

<殺虫剤>

薬剤名	対象病虫害								希釈倍数 使用量 (使用液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	ア ブ ラ ム シ 類	テ ン ト ウ ム シ ダ マ シ	ニ ジ ユ ウ ヤ ホ シ	ナ ス ノ ミ ハ ム シ	ジ ヤ ガ イ モ ガ	ヨ ト ウ ム シ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ナ ス ト ビ ハ ム シ							
ダイアジノン粒剤5								ケラ、 ネキリムシ類	4~6kg/10a	植付前	1回	全面土壌混和又は作条 土壌混和	ダイアジノン	3回以内(但し、植付前の土壌混和は1回以 内)	1B
ダイアジノン乳剤40	●	●							1000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	ダイアジノン	3回以内(但し、植付前の土壌混和は1回以 内)	1B
ダントツ粒剤	●								3~6kg/10a	植付時	1回	植溝処理土壌混和	クロチアニジン	4回以内(但し、植付時の土壌混和は1回以 内、植付後は3回以内)	4A
モスピラン粒剤	●								3~6kg/10a	植付時	1回	植溝土壌混和	アセタミプリド	4回以内(但し、植付時の土壌混和は1回以 内、植付後は3回以内)	4A
ベジホン乳剤	●								1000~2000倍 (100~300L/10a)	収穫30日前まで	2回 以内	散布	ジメトエート	2回以内	1B
				●					1000倍 (100~300L/10a)	収穫30日前まで	2回 以内	散布	フェンバレレート	2回以内	3A
ベストガード水溶剤	●								1000~2000倍 (100~300L/10a)	収穫14日前まで	4回 以内	散布	ニテンピラム	5回以内(但し、植付時までの処理は1回以 内、植付後は4回以内)	4A
チェス水和剤	●								2000~3000倍 (100~300L/10a)	収穫14日前まで	3回 以内	散布	ピメトロジン	3回以内	9B
トレボン乳剤	●								1000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	エトフェンプロックス	3回以内	3A
アドマイヤー水和剤	●								1000~3000倍 (100~300L/10a)	収穫14日前まで	2回 以内	散布	イミダクロプリド	3回以内(但し、植付時の土壌混和は1回以 内、植付後の処理は2回以内)	4A
									16倍 (3.2L/10a)	収穫14日前まで	2回 以内	無人航空機による散布			

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

<殺虫剤> ばれいしょ

【令和7年5月1日現在】

薬剤名	対象病害虫								希釈倍数 使用量 (使用液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	ア ブラ ムシ 類	テ ン ト ウ ム シ ダ マ シ	ニ ジ ユ ト ウ	ナ ス ノ ミ ハ ム シ	ジ ヤ ガ イ モ ガ	ヨ ト ウ ム シ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ナ ス ト ビ ハ ム シ							
エルサン乳剤	●		●						1000~2000倍 (100~300L/10a)	収穫14日前まで	2回 以内	散布	P A P	2回以内	1B
						●	●		1000倍 (100~300L/10a)	収穫14日前まで	2回 以内	散布			
アグロスリン水和剤	●								1000~2000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	4回 以内	散布	シペルメトリン	4回以内	3A
バリアード顆粒水和剤	●								4000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	チアクロプリド	3回以内	4A
ダントツ水溶剤	●								1000倍 (25L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布【フ-ムスプレー】	クロチアニジン	4回以内(但し、植付時の土壌混和は1回以 内、植付後は3回以内)	4A
	●							テントウムシダマシ 類	2000~4000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布			
モスピラン水溶剤					●				2000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	アセタミプリド	4回以内(但し、植付時の土壌混和は1回以 内、植付後は3回以内)	4A
		●							2000~4000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布			
	●								2000~6000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布			
ランネート45DF			●		●			●	1000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	5回 以内	散布	メソミル	5回以内	1A
	●								1000~2000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	5回 以内	散布			
デナポン水和剤50		●							1000~1500倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	N A C	3回以内	1A
								ワタアブラムシ	1000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布			
スタークル顆粒水溶剤								ワタアブラムシ	2000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	ジノテフラン	2回以内	4A

※参考資料の作成に当たっては、農業使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農業を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農業の誤った使用を行わないようにしてください。

※農業散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農業が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

<殺虫剤> ばれいしょ

【令和7年5月1日現在】

薬剤名	対象病害虫								希釈倍数 使用量 (使用液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	ア ブ ラ ム シ 類	テ ン ト ウ ム シ ダ マ シ	ニ ジ ユ ト ウ	ナ ス ノ ミ ハ ム シ	ジ ヤ ガ イ モ ガ	ヨ ト ウ ム シ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ナ ス ト ビ ハ ム シ							
プレオフロアブル							●		1000~2000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	ピリダリル	2回以内	UN
							●		16倍 (0.8~1.6L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	無人航空機による散布			
							●		32倍 (1.6~3.2L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	無人航空機による散布			
									オオタバコガ 1000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布			
パダン水溶剤								ジャガイモ若齢幼虫	1000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	6回 以内	散布	カルタップ	7回以内(但し、種いも粉衣は1回以内、散布は6回以内)	14
スミチオン乳剤	●								250倍 (25L/10a)	収穫3日前まで	6回 以内	散布【フォームスプレー】	MEP	6回以内	1B
	●							テントウムシダマシ 類 1000倍 (100~300L/10a)	収穫3日前まで	6回 以内	散布				
コルト顆粒水和剤	●								4000~8000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布	ピリフルキナゾン	3回以内	9B
									400倍 (25L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布【フォームスプレー】			
									50倍 (3.2L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	無人航空機による散布			
アドマイヤー1粒剤	●								4kg/10a	植付時	1回	植溝土壌混和	イミダクロプリド	3回以内(但し、植付時の土壌混和は1回以内、植付後の処理は2回以内)	4A
ジェイエース粒剤	●								3~6kg/10a	植付時	1回	作条散布	アセフェート	3回以内(但し、植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内)	1B
アディオ乳剤	●							テントウムシダマシ 類	2000~3000倍 (100~300L/10a)	収穫14日前まで	4回 以内	散布	ペルメトリン	4回以内	3A

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意を払っていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

<殺虫剤> ばれいしょ

【令和7年5月1日現在】

薬剤名	対象病害虫									希釈倍数 使用量 (使用液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	ア ブラ ム シ 類	テ ン ト ウ ム シ ダ マ シ	ニ ジ ユ ウ ヤ ホ シ	ナ ス ノ ミ ハ ム シ	ジ ヤ ガ イ モ ガ	ヨ ト ウ ム シ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ナ ス ト ビ ハ ム シ	その他 病害虫							
ウララDF	●									2000~4000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	フロニカミド	2回以内	29
										500倍 (25L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布【フームスプレー】			
										1000倍 (25L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布【フームスプレー】			
										32~64倍 (1.6~3.2L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	無人航空機による散布			
										50~100倍 (3~5L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	無人航空機による散布			
トランスフォームフロアブル	●									2000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	スルホキサフロル	3回以内	4C
										32倍 (3.2L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	無人航空機による散布			
モスピラン顆粒水溶剤	●									2000~6000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	アセタミプリド	4回以内(但し、植付時の土壌混和は1回以内、植付後は3回以内)	4A
									テントウムシダマシ類	2000~4000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布			
						●				2000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布			

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意を払っていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散（ドリフト）しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

ばれいしょ に使用可能な農薬一覧表

銚田市農業振興センター

【令和7年5月1日現在】

<除草剤>

薬剤名	対象雑草	使用量・薬量 (希釈水量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法等	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分 類 コード
タッチダウンiQ	一年生雑草	250～500mL/10a (25～50L/10a)	耕起又は植付前(雑草生育期)	1回	雑草茎葉散布	グリホサートカリウム塩	1回	9
	一年生雑草	250～500mL/10a (25～100L/10a)	植付後萌芽前(雑草生育期)	1回	雑草茎葉散布			
ラウンドアップマックスロード	一年生雑草	200～500mL/10a 通常散布 (50～100L/10a) 少量散布 (25～50L/10a)	耕起前又は植付前まで(雑草生育期)	1回	雑草茎葉散布	グリホサートカリウム塩	1回 <いも類(かんしょを除く)該当>	9
バスタ液剤	一年生雑草	100～200mL/10a (100～150L/10a)	雑草生育期耕起前・植付前・植付後萌芽直前	1回	雑草茎葉散布	グルホシネート	3回以内(但し、萌芽前は1回以内、萌芽後は2回以内)	10
	一年生雑草	300～500mL/10a (100～150L/10a)	収穫21日前まで(畦間処理:雑草生育期)	2回以内	雑草茎葉散布			
クレマート乳剤	一年生雑草	200～400mL/10a (100～150L/10a)	植付後萌芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布	ブタミホス	1回	3
ゴーゴーサン乳剤	一年生雑草	200～300mL/10a (70～100L/10a)	植付後萌芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布	ペンディメタリン	1回	3

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意を払っていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。